

## 事業の基礎情報

|          |  |
|----------|--|
| 実施主体     | ユタカ交通株式会社                                |
| 事業実施地域   | 和歌山県和歌山市                                 |
| 共創の種類    | 官民共創 ・ 他分野共創                             |
| 他分野共創の種類 | 観光・まちづくり                                 |
| 共創パートナー  | 和歌山市、一般社団法人和歌山新城下町DMC                    |
| 運行形態     | 乗合タクシー（AIデマンド交通）、空港送迎貸切ワゴンタクシー、日本型ライドシェア |
| 運行主体     | ユタカ交通株式会社                                |

## 取組の概要

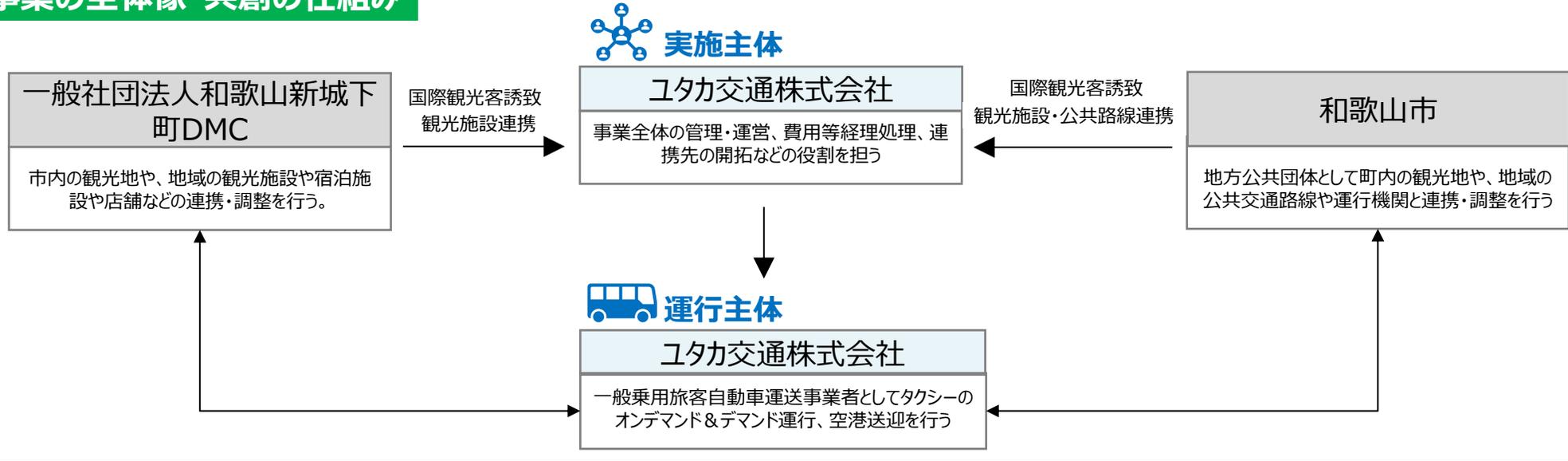
### （現状の地域課題と事業目的）

和歌山市は、その豊かな自然景観や歴史的文化財を背景に、観光産業の振興と持続可能な社会の構築を目指しています。しかし、観光客を効果的に引き寄せるための課題が山積しており、特に主要拠点からの二次交通の整備が重要なポイントです。観光客の約7割が近畿圏内からであり、海外からの観光客を引き寄せるためには、効果的な二次交通の構築を必要としています。公共交通機関の供給量不足や観光地をつなぐインフラ整備、外国語に対応したシステムの遅れが主な課題となっています。

### （事業の概要）

目的達成の為、和歌山市中心エリアにおいてワゴン車両を用いて運賃を定額化し1日乗り放題の乗合型送迎サービスを実施します。店舗での割引や特典提供など、付加価値をサービスを含みます。本サービスはAIオンデマンド配車システムを搭載し、利用者の発着時間を微調整しながら2台の車両で輸送人数を最大化し運行コスト最小化を図るアルゴリズムを持ちます。また複数の外国語に対応し、外国人観光客と地域の観光施設や飲食店、宿泊施設を結びつける機能を持ちます。加えて外国語による予約・決済システムを搭載した空港送迎車両を導入して空港アクセスを向上させ、和歌山市域では既存タクシー車両に外国語対応の予約・決済システムを導入して即時性のある交通確保にも取り組むと共に、日本型ライドシェアを活用して外国語のできるドライバーの採用に取り組めます。

### 事業の全体像・共創の仕組み



### 取組の詳細

#### (地域の関係者との連携・協働)

和歌山市や和歌山県と、必要な規制緩和や調整を行います。観光業界はサービス提供者として、観光客の魅力的なサービスや体験など開発を行うよう働きかけます。技術提供者と共に、AIオンデマンド配車システムの開発と安全な運用を担い、地域コミュニティは文化的な魅力の発信と観光客との交流を促進します。これらの関係者が各自の役割を担うため実施主体者が主導し、連携することで、地域の経済活性化、社会的な連携強化、環境への負担軽減という共通の目標に向かって効果的に取組みます。

#### (実証事業により見込まれる効果)

本事業の実施により、交通の効率化を核としたこの取り組みは、観光客の満足度向上と地域経済の活性化に直接寄与すると期待されます。特に、AIオンデマンド配車システムの導入による輸送人数の増加は約20%以上を見込み、交通渋滞の緩和や、観光収入の増加に加え、観光に携わる人材育成や雇用の創出にも貢献する見込みです。また、多言語対応による外国人観光客の増加と、地域住民の利便性向上も重要な成果として期待されており、これらの効果は地域社会の活性化と環境保護の促進にもつながります。和歌山市における事業は、経済的な利益だけでなく、社会的な価値と環境への配慮をもたらすことで、持続可能な地域発展を目指しています。

## 取組の詳細

### (事業実施手順・スケジュール)

| 内容   | 主体             | 令和6年度                        |        |        |  |
|------|----------------|------------------------------|--------|--------|--|
|      |                | 5月～7月                        | 8月～11月 | 12月～2月 |  |
| 事前準備 | 事業視察・関係者交流・準備  | ユタカ交通株式会社                    | ●————→ |        |  |
|      | 営業所の調整・車両購入    | ユタカ交通株式会社                    | ●————→ |        |  |
|      | システム開発         | ユタカ交通株式会社                    | ●————→ |        |  |
| 実証運行 | 実証運行           | ユタカ交通株式会社                    |        | ●————→ |  |
|      | 地域関係者開拓        | 和歌山市、和歌山新城下町DMC              | ●————→ |        |  |
|      | 本事業広報          | ユタカ交通株式会社<br>和歌山市、和歌山新城下町DMC | ●————→ |        |  |
| 効果検証 | 分析・効果検証・見直し    | 全プラットフォーム事業者                 |        | ●————→ |  |
| 地域貢献 | 共創プラットフォーム取組発信 | ユタカ交通株式会社                    |        | ●————→ |  |
| 実績報告 | 補助事業実績報告       | ユタカ交通株式会社                    |        | ●————→ |  |

### (補助事業実施後の予定)

初期段階での補助金に依存する事業運営から脱却し、自立した事業モデルへの移行を目指します。まず、AIオンデマンド配車サービスの運営においては、サービスの利用者から得られる収益を基盤とします。利用料金の適正化を行いつつ、サービスの質と効率を高めることで、利用者の増加を図ります。また、観光地や地元企業とのパートナーシップを深め、広告収入やコラボレーションによる収益の創出も追求します。次に、事業の多角化を進め、地域特有の観光プロダクト開発や地域資源を活用したイベントの企画・運営など、新たな収益源を探索します。これらの取り組みは、地域経済の活性化とともに、事業の収益基盤を強化します。

さらに、技術面では、システムの効率化とスマート化を進めることで、運営コストの削減とサービスの質の向上を図ります。長期的には、データ分析を活用したサービスの最適化や新サービスの開発にも投資し、競争力のある事業運営を目指します。

資金調達に関しては、事業の成果をもとに、追加の民間資金の獲得や、地域投資ファンドなどからの支援を積極的に求めます。